

平成 30 年度第 3 回大網白里市地域公共交通活性化協議会 次第

日 時 平成 31 年 2 月 1 日 (金)

午前 10 時から

場 所 中央公民館 1 階 講堂

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 平成 31 年度予算案について ······ 【資料 1】

(2) 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業の
事業評価について (報告) ······ 【資料 2】

(3) 増穂地区コミュニティバスについて ······ 【資料 3】

(4) 白里地区コミュニティバスについて ······ 【資料 4】

(5) その他

4 閉 会

資料 1

平成31年度大網白里市地域公共交通活性化協議会当初予算(案)

1 歳 入

(単位:千円)

	31年度	30年度	比 較	説 明
負担金	63	182	△119	
負担金	63	182	△119	
負担金	63	182	△119	大網白里市 63,000 円
繰越金	102	133	△31	
繰越金	102	133	△31	
繰越金	102	133	△31	前年度繰越金 (見込額 102,911 円)
諸収入	1	1	0	
諸収入	1	1	0	
雑入	1	1	0	預金利子等
合 計	166	316	△150	

歳入合計 166 千円

2 歳 出

(単位:千円)

	31年度	30年度	比 較	説 明
運営費	161	275	△114	
会議費	154	265	△111	
会議費	154	265	△111	報酬
事務費	7	10	△3	
事務費	7	10	△3	旅費
予備費	5	41	△36	
予備費	5	41	△36	
予備費	5	41	△36	
合 計	166	316	△150	

歳出合計 166 千円

事業評価（案）に対するご意見

該当箇所	ご意見の要旨	対応
資料 2 P. 1 事業の目的・必要性	・「事業の目的と必要性」について、それぞれわかりやすく整理して記載すること。	・ご意見を踏まえ、記載内容について一部修正しました。

参考 修正前（照会時）

市内増穂地区に存在する公共交通空白地域を解消することを目的とし、地域の実情に即した持続性のある新たな公共交通の構築を図るため、平成22年1月から平成24年3月末までコミュニティバスの実証運行を行った。この実証運行において目標数値（7人／便）を達成したこと、加えて、利用者が増加傾向にあることや運行継続を求める利用者要望が挙がるなどの将来需要が見込まれたことから、平成24年4月から本格運行に移行。その後も利用者の利便性向上のため、アンケートの実施や運行内容の見直し等を行いながら、現在まで運行を継続している。

本市コミュニティバスのルートは、単にバス停からの距離が1km以遠というだけでなく、高齢者数の増加、高齢化率の上昇が今後も継続すると思われる地域を運行している。高齢者にとっては、1km以遠のバス停まで徒歩で移動することは非常に困難であり、地域住民の移動手段として不可欠であると考えられる。

平成30年度 大網白里市地域公共交通活性化協議会（千葉県大網白里市） (地域内フィーダー系統確保維持事業)

地域の公共交通の現況

本市は東西に細長い形状をしており、人口密集地である西側にはJR大網駅を中心とした鉄道、路線バス、高速バス網が張り巡らされている。また、東西を貫く幹線道路の県道山田台大網白里線には民間路線バスが通っている。一方で、駅やバス停から1km以上離れている「公共交通空白地域」も存在している。特に、市中央部の増穂地区や東側の白里地区においてはバス停までアクセスすることができない地域が広く存在し、これら地域の移動手段を確保することが求められている。

事業の目的・必要性

【事業の目的】市内増穂地区に存在する公共交通空白地域を解消する。

【事業の必要性】地域の実情に即した持続性のある新たな公共交通の構築を図るため、平成22年1月から平成24年3月末までコミュニティバスの実証運行を行った。この実証運行において、目標数値(7人／便)を達成したこと、加えて、利用者が増加傾向にあることや運行継続を求める利用者要望が挙がるなどの将来需要が見込まれたことから、平成24年4月から本格運行に移行。今まで利用者数は安定して推移しており、地域住民の移動手段として着実に定着している。

コミュニティバスの利用者は高齢者をはじめ、自身で自動車を運転しない方が多い。他にバス路線のない地域住民にとって、自宅近くで乗降可能なコミュニティバスが運行することは、買物や通院など日常生活における移動手段として必要性の高いものであると考えられる。

事業の概要

平成24年4月から、増穂地区の公共交通空白地域と市内主要施設やJR大網駅をつなぐコミュニティバスの運行を開始した(右回り、左回り各4便、合計1日8便)。その後、利用者の利便性向上を目的に、JR大網駅における鉄道との接続などを考慮し軽微なダイヤ改正を継続的に行っていている(ほか、平成30年4月1日には平日19時台に1便新設するなど、運行内容の見直しを実施している)。

【増穂地区コミュニティバス】

事業者名：小湊鐵道株式会社

運行系統：中部コミュニケーションセンター～中部コミュニケーションセンター間の周回運行(1周回当たりおよそ24km)

運行日：毎日(9便は平日のみ運行)

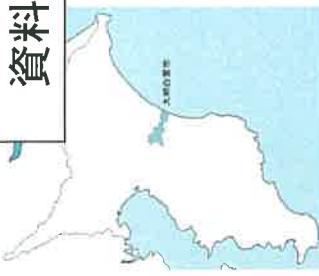
運行時間帯：7時台～19時台

運行本数：9便／日(平日)・8便／日(土日祝日)

運行車両：ノンステップバス(36人乗り)

賃料：200円(小学生、障がい者(手帳提示)、運転免許自主返納者(運転経歴証明書提示)の方は100円)

資料2



協議会開催状況

○協議会の開催状況 8回開催

- ・第1回(平成29年10月19日)
コミュニティバスに関する協議等
- ・第2回(平成29年11月1日)
書面開催
- ・第3回(平成29年12月
事業評価について
白里地区の公共交通に関する協議等
- ・第4回(平成30年2月1日)
白里地区の公共交通に関する協議等
- ・第5回(平成30年4月18日)
白里地区コミュニティバスに関する協議等
- ・第6回(平成30年6月
生活交通確保改善計画案について
白里地区の公共交通に関する協議等
- ・第7回(平成30年7月19日)
コミュニティバスに関する協議等
- ・第8回(平成30年8月
書面開催ルート修正案について
コミュニティバスに関する協議等

前回の事業評価結果の反映状況

- ・平成24年の本格運行開始後、増加傾向にあつた利用者数が28年度、29年度と続けて減少した。
- 地域のニーズを改めて把握するため、平成29年8月にアンケートを実施し、この分析結果をもとに、議論会での議論を経て、運行内容の見直しを実施。平日6時台の便を廃止し19時台の便を新設したほか、運転免許自主返納者に対する運賃割引を新たに導入するなど、利用者利便性の向上を図った。
- ・平成30年4月の運行内容見直し後、各時間帯ごとの利用者推移を分析し、低迷している便についではJR大網駅での電車との乗継状況を改善するため、平成30年11月にダイヤの見直しを実施した。
- ・新設した19時台の便について利用促進を図り、ターゲット地域に向けた周知活動を実施した。

アピールポイント

- ・利用者の利便性を上げるために、交通量の少ない区間ににおいて「自由乗降区間」を設定している。
- ・商業施設や病院には、敷地内までバスが乗り入れし、建物入口付近で乗降が可能。

定量的な目標・効果

【目標】
・利用者数 8.2人／便、71.2人／日、年間26,000人

【効果】

- ・コミュニティバスの運行を維持することにより、増穂地区の一部に存在する公共交通空白地域の大半が解消され、高齢者等の交通弱者の移動手段確保、並びに外出支援の推進が可能となる。
- ・交通結節点であるJR大網駅を経由させ、鉄道・幹線バスとの効率的な連携を推進することで利用者の利便性向上を図るとともに活発な地域交流を促進し、地域活性化への足掛かりとする。

目標効果の達成状況

【目標の達成状況】

- ・利用者数 9.1人／便、78.5人／日、年間28,646人
- ・平成28年度及び29年度は利用者数が続いたものの、30年度は過去最高の利用者数を記録した。平成30年4月からは、利用の低迷していた右回り0便を廃止し左回り9便を新設したほか、新たに運転免許自主返納者に対する運賃割引を導入している。

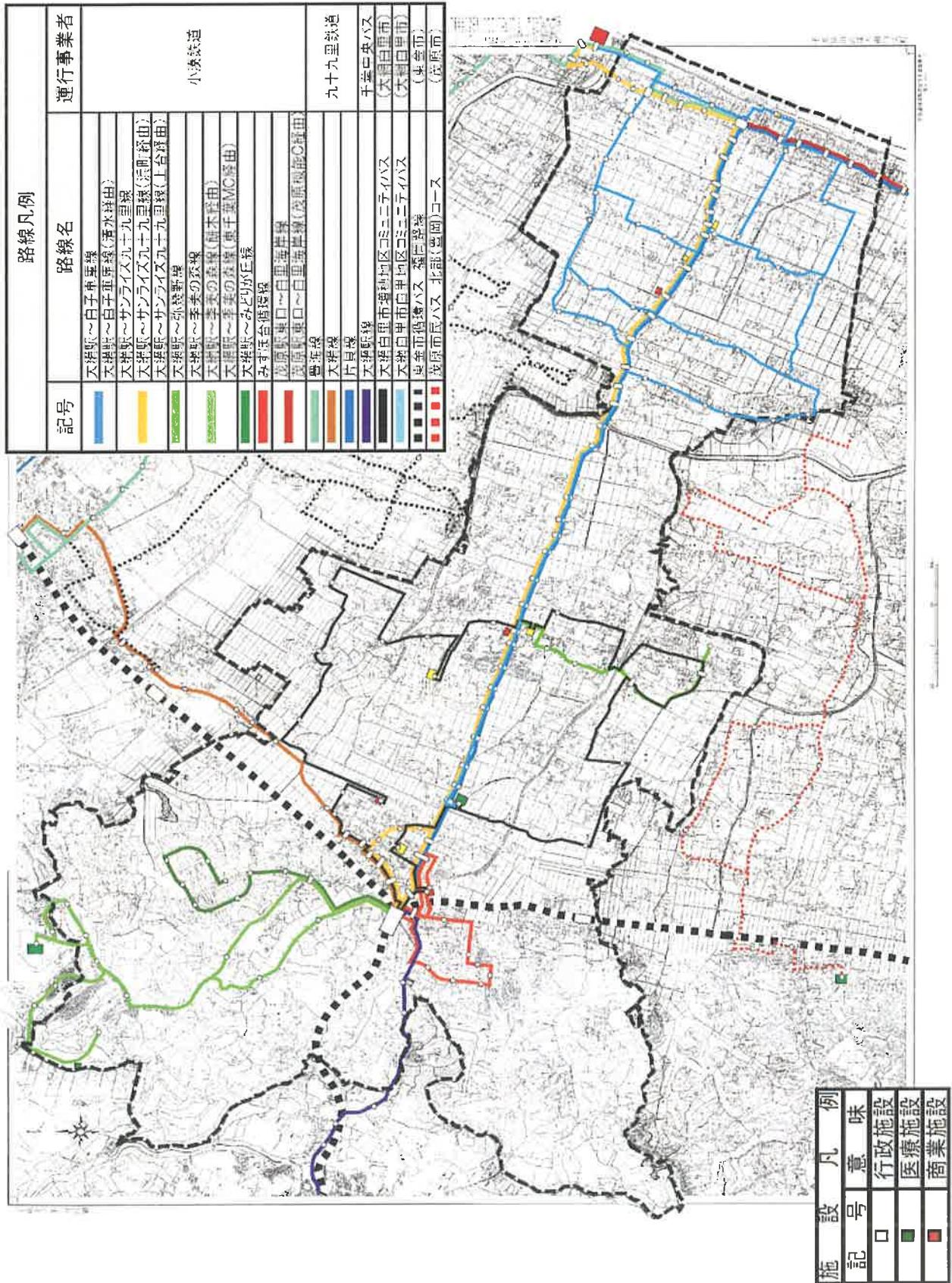
【効果の達成状況】

- ・利用者の乗降地点をみると、JR大網駅や大型商業施設が中心で、その他に国保大網病院への通院などがある。また、公共交通空白地域である清名幸谷地区や上谷新田地区などでは自由乗降区間での乗降が多く見られるなど、これまでと同様、当初の目的と合致した成果が見られている。

今後の改善点

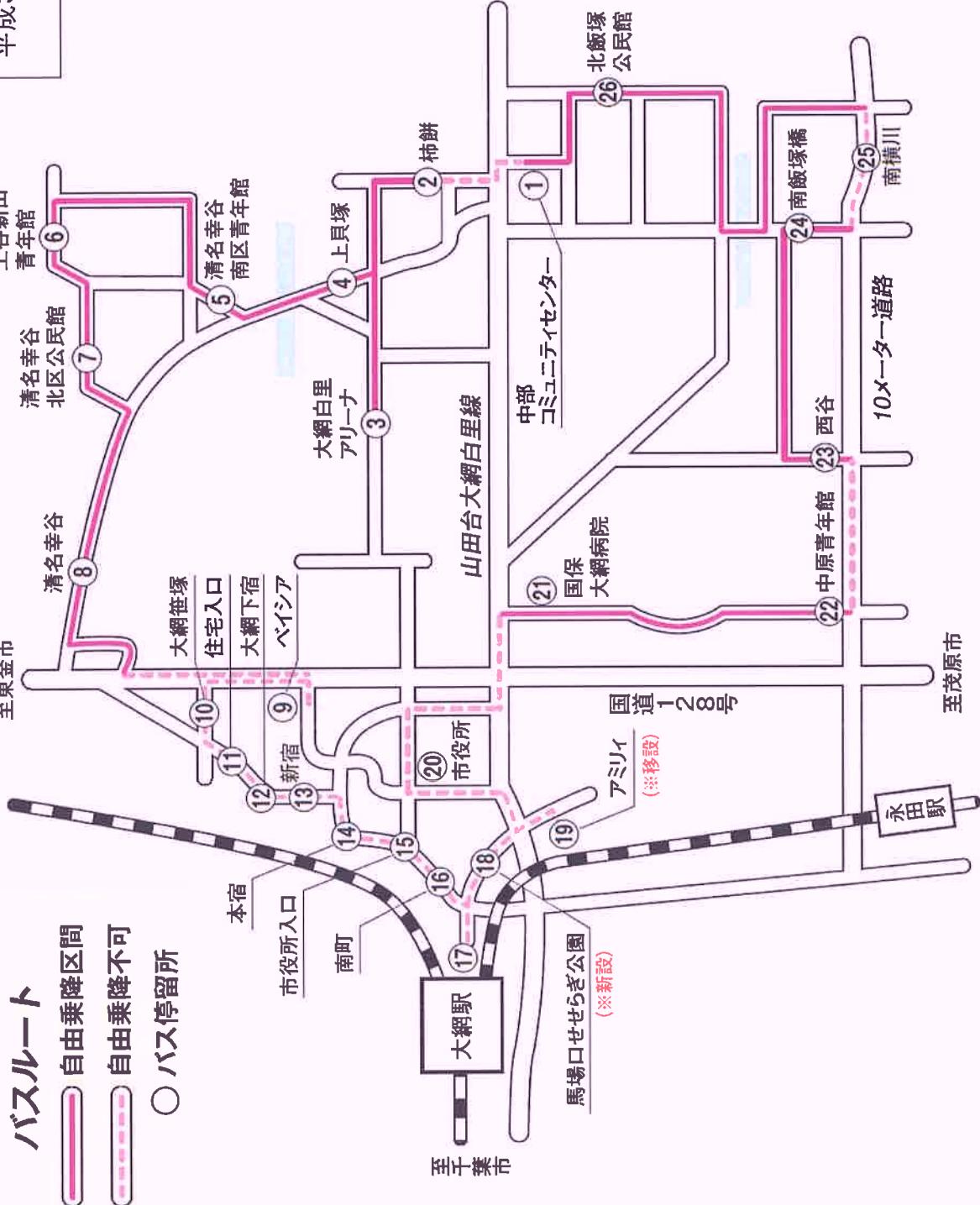
- ・市地域公共交通網形成計画では、基本方針として「事業者、行政、住民が協働して持続可能な公共交通システムの確立を図る」とことを掲げている。平成30年6月には市の住民協働事業として「増穂地区コミュニティバス応援事業」の募集をおこなつたものの、住民からの応募はなかつた。コミュニティバスの運行が継続されることには、地域にとって有効な活性化策になるという理解の浸透を図るとともに、地元住民がさらに当事者意識を持ち、応援団などのような利用促進策や情報提供の仕組みを検討していく必要がある。

地域の公共交通体系図



増穂地区コミュニティバス運行図

平成30年11月10日
改定版



増穂地区コミュニティバス利用実績

運行日数	左回り		右回り		合計		平均(円)													
	大人 平均 (人/ 便)	小人 平均 (人/ 便)	大人 平均 (人/ 便)	小計 平均 (人/ 便)	小計 平均 (人/ 便)	大人 平均 (人/ 便)														
平成29年10月	31	1,213	9.8	38	0.3	1,251	10.1	1,190	8.2	35	0.2	1,225	8.4	2,403	8.9	73	0.3	2,476	9.2	487,900
11月	30	1,099	9.2	50	0.4	1,149	9.6	1,095	7.8	45	0.3	1,140	8.1	2,194	8.4	95	0.4	2,289	8.8	448,300
12月	31	1,207	9.7	61	0.5	1,268	10.2	1,231	8.5	58	0.4	1,288	9.0	2,438	9.1	119	0.4	2,557	9.5	499,500
平成30年1月	31	1,048	8.5	52	0.4	1,100	8.9	1,075	7.5	40	0.3	1,115	7.8	2,123	8.0	92	0.3	2,215	8.3	433,800
2月	28	1,055	9.4	54	0.5	1,109	9.9	1,023	7.8	51	0.4	1,074	8.2	2,078	8.6	105	0.4	2,183	9.0	426,100
3月	31	1,216	9.8	80	0.6	1,296	10.5	1,186	8.2	72	0.5	1,258	8.7	2,402	8.9	152	0.6	2,554	9.5	495,600
4月	30	1,136	8.1	114	0.8	1,250	8.9	1,041	8.7	90	0.8	1,131	9.4	2,177	8.4	204	0.8	2,381	9.2	455,800
5月	31	1,135	7.8	118	0.8	1,253	8.6	1,025	8.3	95	0.8	1,120	9.0	2,160	8.1	213	0.8	2,373	8.8	453,300
6月	30	1,098	7.8	157	1.1	1,255	8.9	1,019	8.5	124	1.0	1,143	9.5	2,117	8.1	281	1.1	2,398	9.2	451,500
7月	31	1,119	7.7	156	1.1	1,275	8.8	1,089	8.8	130	1.0	1,219	9.8	2,208	8.2	286	1.1	2,494	9.3	470,200
8月	31	1,134	7.9	161	1.1	1,295	9.0	988	8.0	126	1.0	1,114	9.0	2,122	7.9	287	1.1	2,409	9.0	453,100
9月	30	1,104	8.0	136	1.0	1,240	9.0	976	8.1	101	0.8	1,077	9.0	2,080	8.0	237	0.9	2,317	9.0	439,700

年度合計	365	13,564	8.6	1,177	0.7	14,741	9.3	12,938	8.2	967	0.6	13,905	8.8	26,502	8.4	2,144	0.7	28,646	9.1	5,514,800
------	-----	--------	-----	-------	-----	--------	-----	--------	-----	-----	-----	--------	-----	--------	-----	-------	-----	--------	-----	-----------

※平成30年4月から、以下のとおり運行内容を変更している

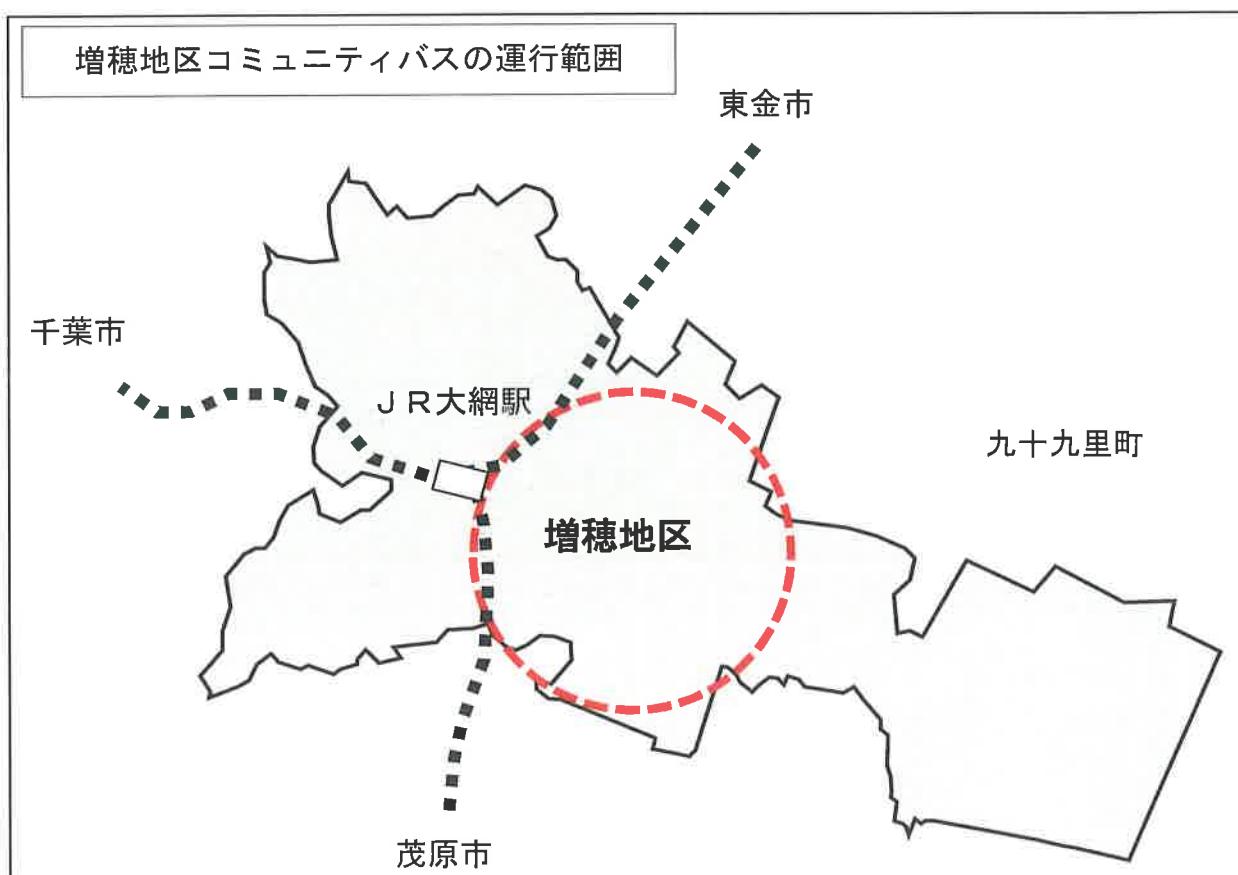
- ・新たに運転免許返納者に対する運賃割引を導入、
- ・右回り0便を廃止し、左回り9便を新設

1日当たり平均利用者数 = 78.5人

増穂地区コミュニティバスについて

1 運行内容見直し後の利用状況等

2 地域と連携した取組



1 運行内容見直し後の利用状況等

(1) 見直し内容

A. 平成30年4月1日から

- 朝6時台の便を廃止し、新たに夜7時台の便を開始しました。

〔朝6時台の便は、1便平均2.1人の利用者数
夜7時台の便は、6月末までで1便平均2.0人〕

- 運転免許自主返納者に対する割引を新設しました。

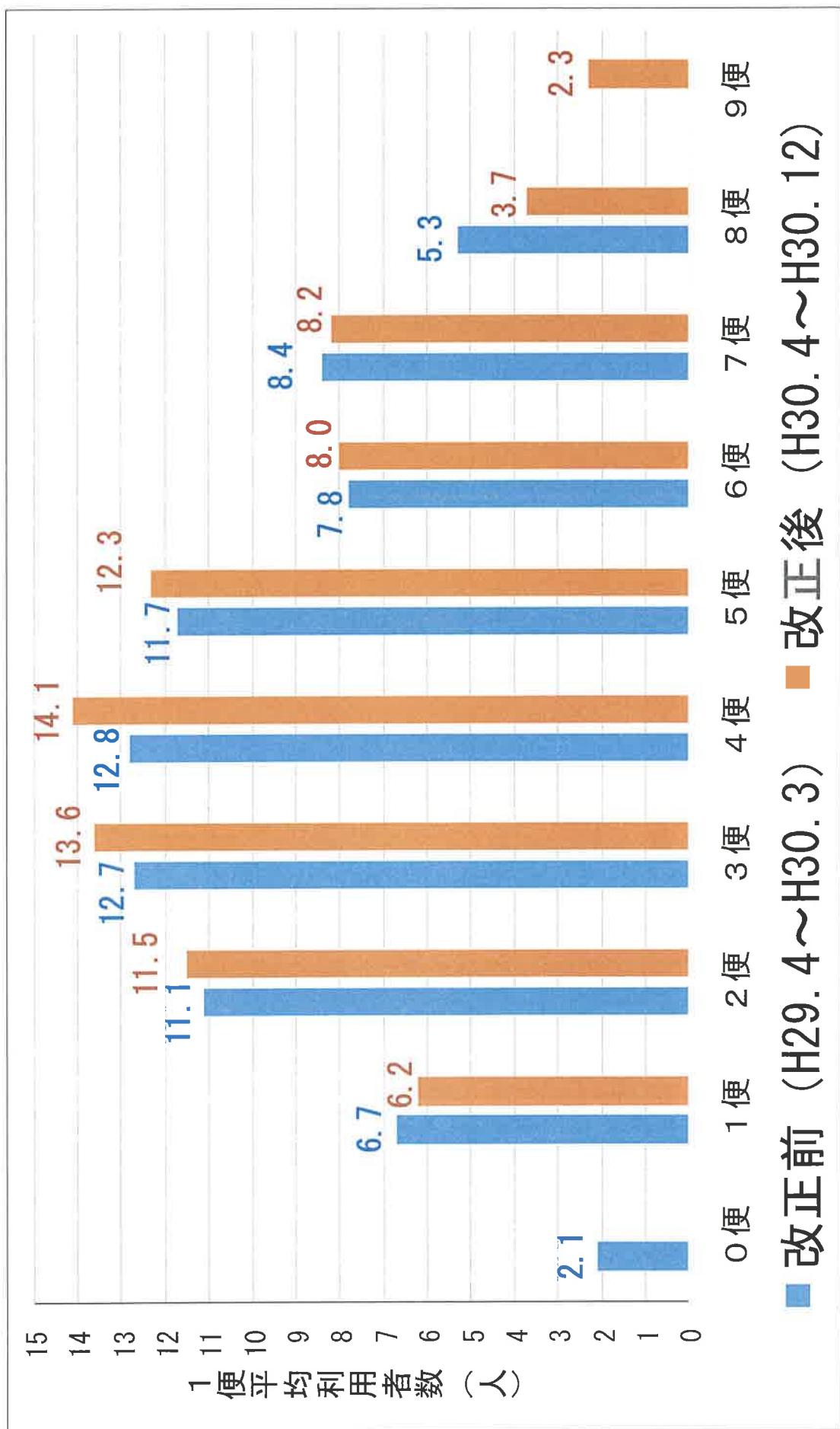
B. 平成30年11月10日から

- 新たな道路の開通に伴い、運行ルートを一部変更しました。
- バス停留所の移設（アミリイ）、新設（馬場口せせらぎ公園）を行いました。



（コミュニティバスチラシから抜粋、加工）

(2) 利用状況比較



(3) 導入後の状況

新たに開始した夜7時台の便

平成30年4月から導入

- ・ターゲット地区へ重点的にチラシを配付（8/28～）したほか、11月の見直しにあわせて、ダイヤを改正し、大網駅での列車との接続を改善しました。
(下り快速列車 19:05 大網駅着から乗継可能に)
- ・しかしながら、現在のところ、大きな増加には至っておりません。

参考 月別の平均乗車人数（人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2.2	1.8	2.1	2.6	2.3	2.8	1.6	3.0	2.7

運転免許自主返納者の運賃割引

平成30年4月から導入

- ・全体の利用者のうち、運転経歴証明書の提示による割引を受けられた方は、2.4%でした。
- ・広報4月号で、運転経歴証明書を提示された方への割引について、再度周知を行いました。

参考 運転経歴証明書の提示による割引を受けられた方

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ人数	45	49	61	58	57	35	54	57	103
割合(%)	1.9	2.1	2.5	2.3	2.4	1.5	2.2	2.4	4.1

バス停留所の移設について

平成 30 年 11 月から導入

- ・ショッピングセンター「アミリィ」の建物入口付近にバス停留所を移設し、敷地内までバスが運行するようになりました。
- ・バス停はフードコートのすぐ目の前にあり、バスを待つ間の環境改善にもつながりました。
- ・利用者からは「買い物をして重い荷物をもって遠くまで歩くのは大変。この時期は風もあるけれど、暖かいところで待ち、すぐ乗れて助かる」などの声をいただいています。



2 地域と連携した取組

(1) 住民協働事業の募集結果について

・地域の住民が主体となって、コミュニティバスの利用促進や利便性向上に自ら取組むことによって、よりきめ細やかなニーズの反映を図るとともに、バスを「地域自らが守り、育てる」という意識が地域全体に浸透することを目指し、「増穂地区コミュニティバス応援事業」を行政提案型住民協働事業として募集しました。

募集の結果、応募はありませんでした。

(2) 今後の取組（案）について

合言葉は「スマールスタート」

取組みしやすいことから始めて、徐々に拡大していきます。



車内の掲示スペースを活用した地域情報の提供

- ・この取組を通じ、地域の団体や自治会と連絡を定期的に取る関係を構築することで、このバスが「地域のバス」であるという意識を徐々に広げていきたいと考えました。
- ・地域と連携し、コミュニティバスの運行内容を理解する方が増えることで、口コミ等によるさらなる周知効果も狙っています。

例えば・・・

- ・市の行事、お知らせ
- ・地域団体のイベント
- ・自治会の情報

参考　車内にコミュニティボードを設置し、自治会のお知らせなどを

掲示したコミュニティバス

(吹田市　すいすいバス)



行政提案型住民協働事業

「増穂地区コミュニティバス応援事業」の募集について

市がテーマを提示し、これに対して市民団体が事業内容を企画立案するものを「行政提案型住民協働事業」と呼んでいます。

今回、この行政提案型住民協働事業として、「増穂地区コミュニティバス応援事業」を募集します。

1 事業の概要

- ・地域住民が主体となって、コミュニティバスの利用促進や利用者利便性の向上に自ら取組む。
- ・具体的には…
 - バス車内を活用したイベントの実施（乗って楽しいバスの実現）
 - バス運行の環境整備（気持ちよく利用できる環境づくり）
 - 会報やホームページの作成（地域全体が当事者意識を持つ）

2 期待する効果

- ・地域の住民が自ら利用促進策や利便性向上について検討し、そして自らが取組むことによって、よりきめ細やかなニーズの反映を図るとともに、バスを「地域自らが守り、育てる」という意識が地域全体に浸透する。

3 実施に向けたスケジュール

平成30年 8月 募集開始（市地域づくり課）

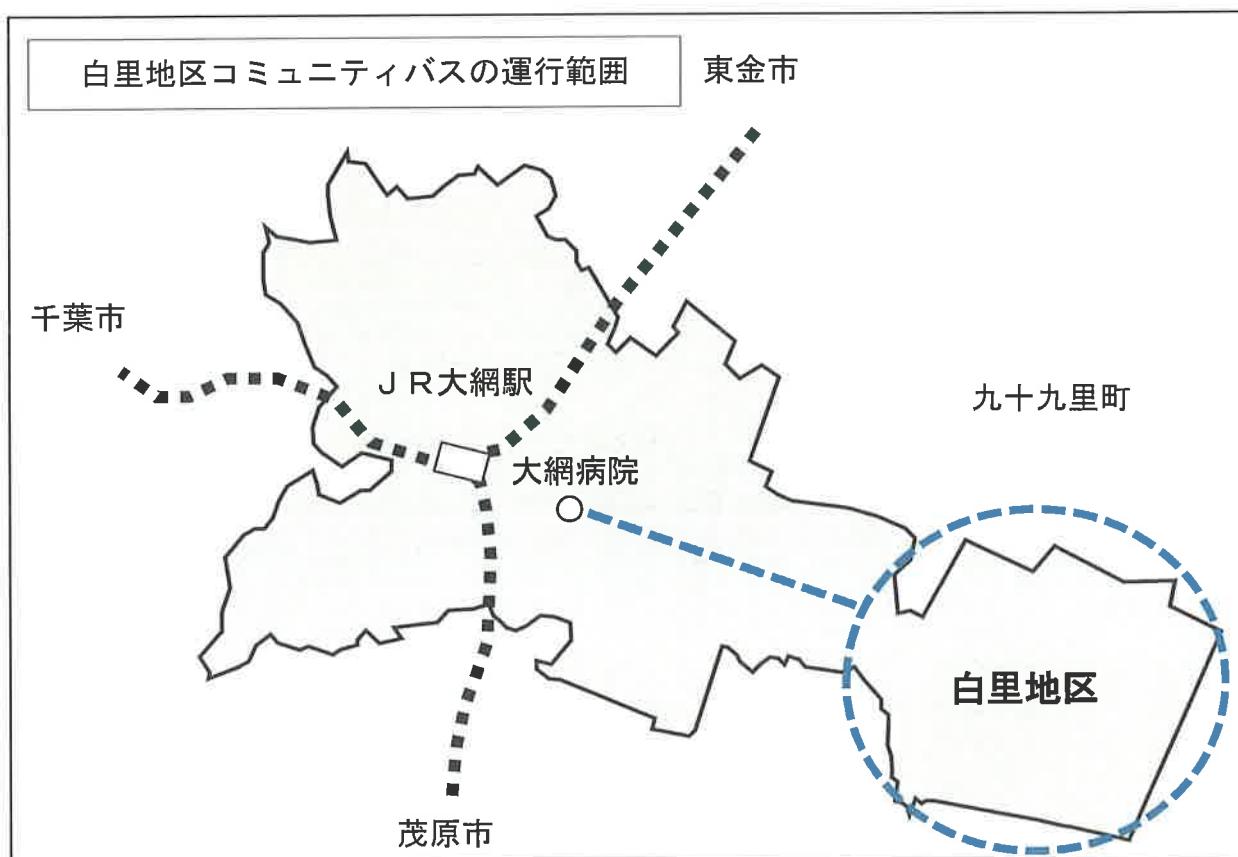
10月末 提案事業の審査

平成31年 4月 事業開始

白里地区コミュニティバスについて

1 導入からこれまでの利用状況

2 今後の利用促進策



1 導入からこれまでの利用状況

(1) 導入まで

- ・白里地区の公共交通空白地域（バス停留所から1km以上遠い地域）を解消するため、過去に以下のような施策を実施してきましたが、いずれも利用状況が伸びず、運行の継続には至りませんでした。

A. デマンド型乗合いタクシーの運行

試験運行（平成21年1月20日～2月末）

実証運行（平成22年10月1日～平成24年3月末）

B. 路線バスの新ルート導入（平成25年11月22日～平成30年9月末）

- ・バス事業者から路線バス廃止の申入れがあったことを受け、公共交通空白地域における移動手段を切れ目無く確保することを目的に、新たな公共交通の導入を検討しました。その後、アンケート調査や地元の皆様との意見交換会、地区からの要望等を踏まえ、本協議会での議論を経て、「地区内を循環するミニバス」という枠組みを決定しました。
- ・運行内容については、より地域の実情に即したものとなるよう、地元区長や民生委員、社会福祉協議会委員等で構成する「ワーキンググループ」を設置し、市と住民が一緒になって具体化していきました。
- ・また、運行の持続可能性を踏まえ、利用者数の目標を「1便当たり5人」と設定し、地域とこの目標を共有しました。

C. 白里地区コミュニティバス運行開始（平成30年10月1日～）

(2) 導入前後の利用促進及び周知活動

<< 運行開始前 >>

- ・愛称の公募 → 「はまバス」に決定
- ・ラッピング車両によるテスト走行
- ・白里地区区長会での説明
- ・区長を通じて全戸ヘチラシを配付
- ・広報9月号（9月1日発行）への掲載
- ・各所へのチラシ配布

（コスモス荘、白里公民館、大網病院、スーパー・ハヤシ、郵便局、コンビニ）

- ・市ホームページへの掲載
- ・市のキャラクター「マリン」twitter投稿



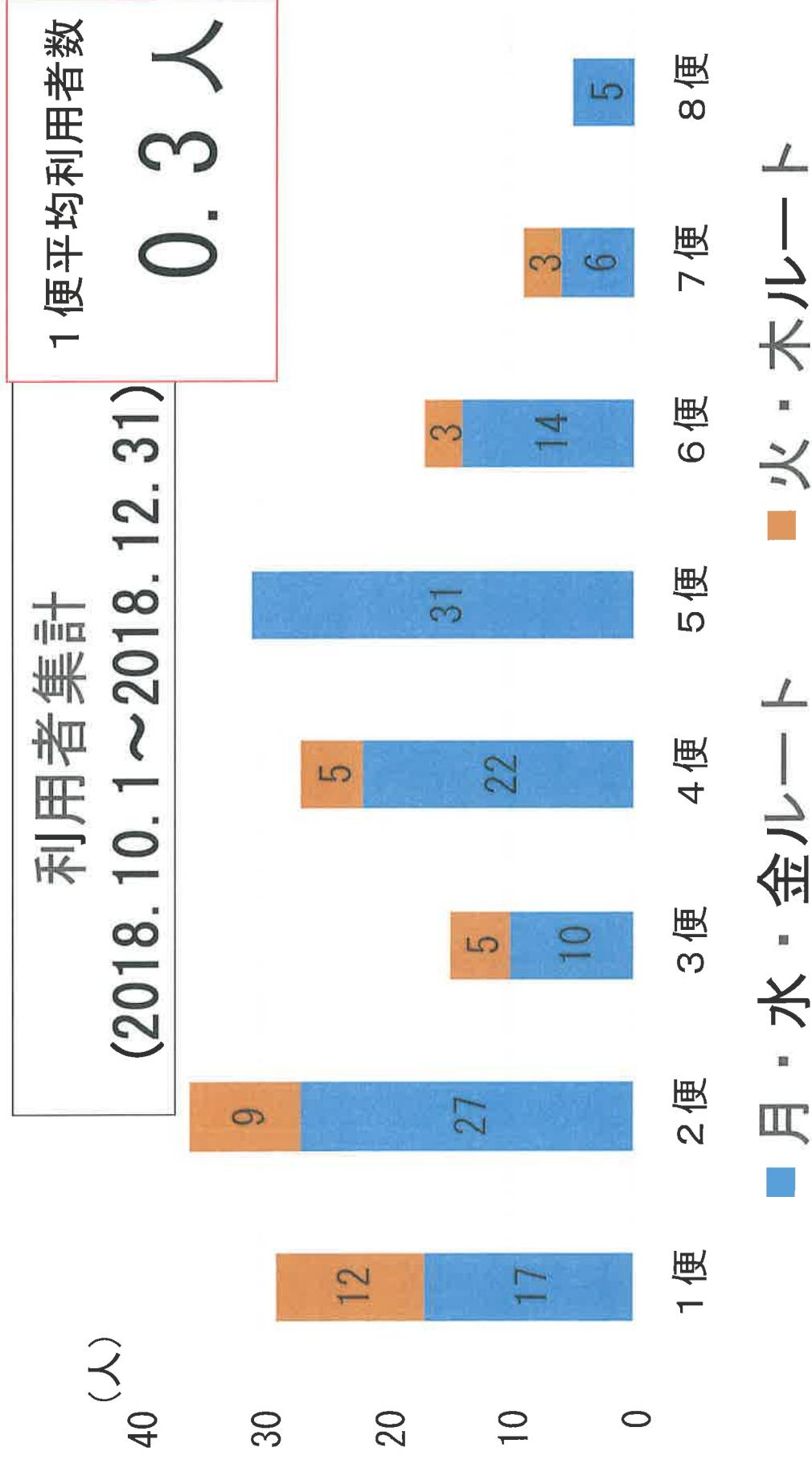
平成30年10月1日 運行開始

<< 運行開始後 >>

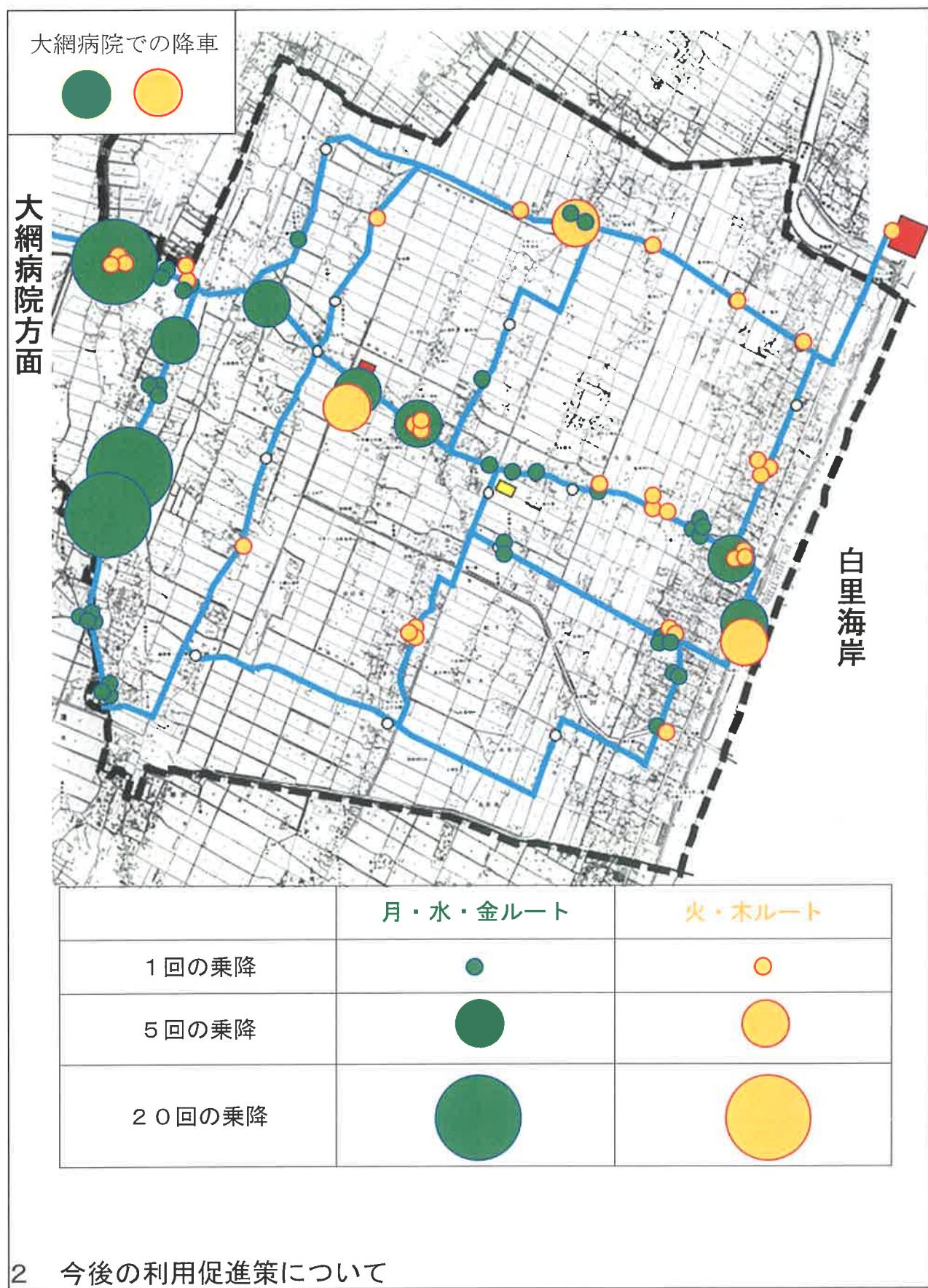
- ・「あなた専用の時刻表」作成サービス導入
- ・敬老会でバス車両展示、チラシ配布
- ・産業祭でバス車両展示、チラシ配布
- ・広報11月号（11月1日発行）掲載

平成30年
11月号
No.619
おおあみしらさと
はまバス
みんなで乗ろう!
「はまバス」の注目ポイント
あなたの専用の時刻表を作ります!
おおあみしらさと
11月号
はまバス
みんなで乗ろう!
「はまバス」の注目ポイント
あなたの専用の時刻表を作ります!
おおあみしらさと
11月号
はまバス
みんなで乗ろう!

(3) これまでの利用状況



停留所別の利用状況（10月～12月）



(1) 情報提供・周知手法の見直し

- これまで、広報紙での周知や敬老会等イベントを利用して多数に対して周知していましたが、「誰でも乗れるの?」「どこに行くのか」などの声をいただくことがあり、理解が思うように進みませんでした。
- 今後は、このような多数に対する周知だけでなく、ピンポイントの周知や、その人に応じた情報提供を進めていきます。

具体的には

- 地域の民生委員、社会福祉協議会のネットワークを活かし、公共交通が望まれるであろう方（高齢者のみの世帯、自家用車を持たない、ご自身で運転されない、運転免許を返納されたなど）へ、直接情報を提供していきます。
- また、地区や自治会、趣味のサロンといった小規模な集まりのあるところへ出向いて、じかに説明や情報提供を行います。
- いずれも運行チラシと「あなた専用の時刻表」作成用紙や作成例（モデルプラン）をセットでお渡しする、ご利用いただいた方の声を伝える（大網病院では玄関前で降りられるから便利！）など、わかりにくさの払拭につなげる活動を行います。

(2) 無料運行の実施

- まずは一度乗車してもらい、便利さ、使い勝手をご自身で体験していただくことで、リピート利用のきっかけをつくることを目的としています。

無料運行の実施案

期間 平成31年3月1日から4月30日までの2ヶ月間

手法 広報3月号（3月1日発行）に無料券を掲載（4枚）

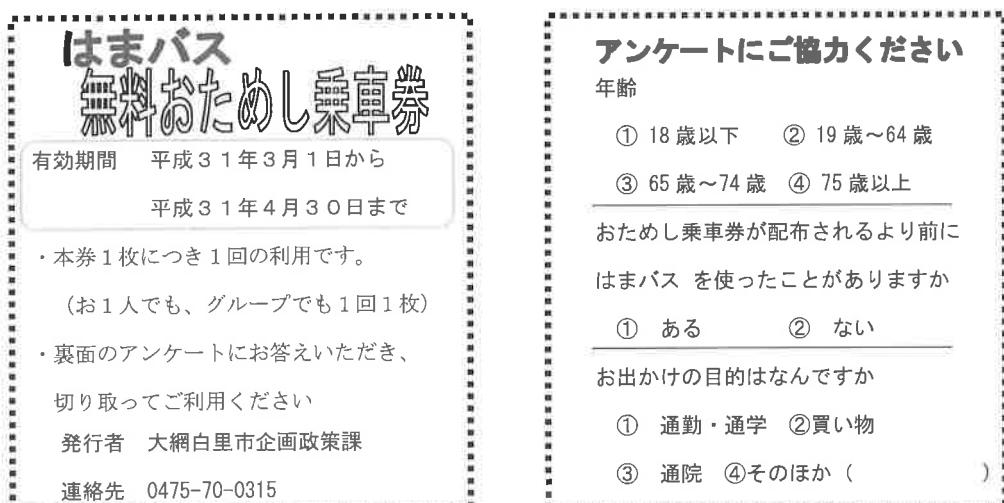
広報4月号（4月1日発行）に無料券を掲載（4枚）

- 無料券1枚につき1回の乗車、グループでの利用可能
- 大網病院行き（平常時400円）も同じく無料
- 乗継割引は、期間中も実施（＝一律200円の割引）

（無料券イメージ）

オモテ

ウラ



はまバス

あなた専用の時刻表をつくります

以下項目にご記入願います。

お名前	
生年月日	年 月 日
ご住所	〒 一 大網白里市
電話	
乗車する停留所	
(例 スーパーハヤシ、大網駅等)	
行き先 (3つまで)	1. _____
	2. _____
	3. _____

2週間程度でお手元に郵送させていただきます。

行き先によっては、時刻表を作成できない場合があります。

【問い合わせ先】

大網白里市 企画政策課 政策推進班

TEL 0475-70-0315

FAX 0475-72-8454

あなた専用 の 時刻表(月曜・水曜・金曜)

あなた専用 の 時刻表(月曜・水曜・金曜)

行き

→
200円

下ヶ傍示
(上り)

降りたまま
(1分)
9:38
(1分)
11:58
(10分)
14:58

小湊鉄道
下ヶ傍示
(上り)

大網駅
360円
10:11
12:20
15:30

下ヶ傍示
(下り)

10:30
13:40
16:00
17:00

小湊鉄道
下ヶ傍示
(下り)

10:49
13:59
(6分)
16:19
(16分)
17:19

はまバス
小湊鉄道
下ヶ傍示
(上り)

乗継割引券で
160円
15:08

はまバス
下ヶ傍示
(上り)

9:49
11:59
15:08

はまバス
小湊鉄道
下ヶ傍示
(上り)

10:11
12:20
15:30

帰り

→
360円

下ヶ傍示
(上り)

向かい側の
バス停留所へ
(16分)
11:05
14:05
16:25
17:35

下ヶ傍示
(下り)

3便
5便
7便
8便

はまバス
若草区
下ヶ傍示
(上り)

200円
乗継割引券で
無料に!
11:12
14:12
16:32
17:42

はまバス
若草区
下ヶ傍示
(上り)

11:05
14:05
16:25
17:35

はまバス
大網駅
下ヶ傍示
(上り)

10:11
12:20
15:30

【大事なことなので忘れずに!】

- ・バスを降りるときに「乗継割引券」をもらいましょう。
- ・はまバスは月・水・金の運行です。(火・木は運行ルートが異なります。)